

# いわての学び希望基金

[活用状況の御報告]

令和8年3月

ありがとう。



# 新渡戸稲造の思いを胸に設立した基金は 皆様の温かい心によって子どもたちの支えに。

岩手の偉人の一人に「武士道」を著した新渡戸稲造がいます。

新渡戸稲造は、今から百年以上前、札幌農学校教授時代に、家庭の事情で学校に行けなかった子らを集めた無料の夜学校「遠友（えんゆう）夜学校」を設立しました。

その設立は、子どもたちに、「学ぶ楽しさを教え、将来、社会に役立つ人物になってほしい」との思いによるものと言われています。

「いわての学び希望基金」は、新渡戸稲造の精神を受け継ぎ、子どもたちが社会に出るまでに必要な「暮らし」と「学び」に役立てられ、皆様からの御支援が、子どもたちの希望と未来を創っています。

はじめに

令和8年3月  
岩手県知事

達増拓也



平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により、岩手県では、災害関連死を含め5,147人の方が亡くなり、未だ1,106人の方が行方不明となっているなど、沿岸地域を中心に甚大な被害が発生しました。

また、東日本大震災津波により584人もの子どもたちが親を亡くしたほか、親が仕事を失うなど、子どもたちを取り巻く環境も一変し、多くの子どもたちが、経済的な理由により就学を断念することが懸念されていました。このことから、県では、こうした子どもたちに対し、自らの希望する進路を選択し、社会人として独り立ちするまで、継続的な支援を行うことを目的に、平成23年6月に「いわての学び希望基金」を創設しました。

「いわての学び希望基金」には、これまで、国内外の多くの皆様から108億円を超える御寄附をいただいております。被災地の子どもたちへの奨学金給付や教科書等の購入費、部活動遠征費の補助、通学費用の負担軽減など、子どもたちが社会に出るまでに必要な「暮らし」と「学び」の支援を行ってまいりました。これもひとえに温かい御支援をくださった皆様のおかげであり、心から感謝申し上げます。

東日本大震災津波の発生から15年が経過し、復興の歩みは着実に進んでいる一方で、被災者のこころのケアや被災した子どもたちへの支援など、一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援が引き続き必要であるとともに、主要魚種の不漁などの影響を受けている水産業の再生、震災の事実と教訓の伝承などにも中長期的に取り組んでいく必要があります。また、「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」に備え、関係機関と連携して、防災・減災対策を進める必要があります。

県では、「いわて県民計画(2019~2028)」において、「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」を基本目標として掲げ、引き続き復興を県の最重要課題と位置付けながら、「誰一人として取り残さない」という理念の下、三陸のより良い復興の実現に向けた取組を進めてまいりますので、一層の御支援をお願い申し上げます。

結びに、本小冊子により、支援をいただいた子どもたちから全国の皆様への感謝をお伝えするとともに、被災地の子どもたちが東日本大震災津波を乗り越えて進む姿を発信することで、多くの皆様に岩手の復興の今を御理解いただくことを願い、発刊のことばといたします。

## 目次

|                  |       |
|------------------|-------|
| 座談会              | 3~5   |
| 感謝の気持ち           | 6     |
| エール              | 7~8   |
| 「いわての学び希望基金」活用状況 | 9~12  |
| 子どもたちをめぐる復興の状況   | 13~14 |

トピラ写真：山田町山田湾



子どもたちが安心して楽しめるようないろいろな気遣いが必要なと感じ、今の仕事にも生きていて感じています。

**小鍬**：自分はビジネスの専門学校で営業を学びたいなと思っています。目指すのは東京など県外の学校なので、もっと勉強も頑張らなきゃいけません。そしてテニスも、もっともっと技術を高めたいです。今年の高校総体ではテニス部として目標を掲げて頑張りましたが、来年先輩が抜けたら次は自分たちが引っ張っていかないとけない。そのためにもさらに実力をつけたいです。そして高校三年生になって部活を卒業したら、自分もボランティアにも参加してみたいです。



小鍬悠陽さん  
高田高校1年生。部活動のテニスを頑張りが、営業職に関心を持つ。

### 支援が可能性を広げてくれた 3人からの感謝と決意のメッセージ

**中村**：では最後に、学び希望基金に寄附された皆様へのメッセージを聞かせてください。将来に向けての決意表明なんかも聞けたら嬉しいな。

**千葉**：皆様からの寄附がなかったらそもそも大学には行けていなかったの、まずその選択肢を与えていただいたことへの感謝が一番です。そして支援していただいた分、自分も頑張っていかなきゃと思います。あとは親にも何か恩返しをしていけたらと思っています。

**菊池**：自分も大学進学するとき親に「支援して下さる方がいるから進学できるのだから、勉強も生活もちゃんとしなさい」と言われました。支援がなかったら、今のようやりたいことを見つけ、打ち込むことはできなかったと思うし。今後は岩手や東北に恩返しできるような存在になりたい。それが私の決意表明です。

**小鍬**：こうして支援していただいたおかげで今、選択肢が広がっていると思います。親からは自分のやりたいことを

やっていいよと言われてはいますが、支援がなかったら選択肢が狭くなって自分のやりたいことができなくなっていたかもしれない。将来はいただいた支援を返すだけではなく、それをしっかり生かして社会に貢献していくような人になれたらなと思っています。

**千葉**：菊池さんや小鍬さんのような世代の方と喋る機会はあまりないので、久々にエネルギッシュな面に触られた気がします。そして自分を含め、これまでの生活がいろいろな方からの寄附や奨学金によって支えられてきたということを再認識することができました。

**菊池**：私も、仙台の大学とはいえ震災を経験していない人に普段囲まれているので、この座談会で自分の深層的な部分を振り返れた気がします。そして今、興味があることに打ち込んでいることは、支援して下さる方のおかげだということを感じています。

**中村**：ありがとうございました。支援者の方は、みなさんが楽しいことや頑張りたいことへ全力で取り組んでもらうことも期待してくれていると思います。頑張ってください。



※学校名・学年等は、令和7年10月現在のものです。

# 感謝の気持ち



社会人1年目

この度は、「いわての学び希望基金」のご支援をいただきまして、誠に感謝しております。私は東日本大震災の父、祖母、叔母を亡くしました。幼い頃から海の生き物が好きで、大学へ行く、地元三陸のこの地へよく来た思い出、昇格の私立大学を志望していましたが、一時は進路を迷ったこともあり、しかし、ご支援をいただいたことで、母への負担も多少軽減され、進学、志望大学へ進むことができました。そして、大学進学後も、震災を経験した教授や、先輩など、多くの出会いがあり、現在の仕事と志望、採用をいただくことができました。ご支援いただいたことで、私の人生は大きく変わったと、心から感じております。幼い頃からの夢であった、「海の生き物に関わる」という思いは変わらなず、地元岩手県の北斎美術館、発展に少しでも尽力できれば、今後も一生懸命頑張ります。

これから、多くの子どもたちが夢を叶え、様々な場所へ活躍することを願います。お返しをさせていただきます。

本当に、ありがとうございました。

吉川 吉文 お礼申し上げます。

社会人1年目

このたびは「いわての学び希望基金」を通じ、長きにわたり94年存続の支援を賜り、誠にありがとうございます。おかげさまで大学での四年間の結果は合格いたしました。その中には半年間の長期実習も含まれており、無事に終了することができたのは、皆様の温かいご支援のおかげです。卒業後は実習に専念できたことにも心より感謝申し上げます。9月からは、株式会社で働き始めます。小さい頃からの夢を現実にするのは、温かいご支援のおかげです。今後は、海運を通じて社会に貢献できるように精一杯努力し、成長していきたいと思っております。改めて、これまでのご支援に心より感謝申し上げます。

社会人1年目

寄附者の皆様、これまで沢山の「支援」をいただき、成長にありたいと心掛けていた。皆様のおかげで、実際に大学生活を送ることができています。

私は、東日本大震災をきっかけに、災害時に人の助けにたのめられた経験が、親身になって見ることができ、理学療法士を目指して、大学生活を楽しんでいます。

「カリスマ」はありませんが、大学で出会った方々の教員、方々に、感謝を込めて、卒業し、国家試験も合格することができました。

現在、1年間の勉強に、入部しました。まだ、慣れないと、毎日苦しいですが、目標や上司の方々の、励みのおかげで、日々頑張っています。

今はまだ、災害時の支援の経験も、まだまだありますが、この経験が、災害時の支援に、役に立つように頑張ります。

これから、人に寄り添える理学療法士を目指して頑張ります。

改めて、これまで支えてくれた「支援」に、心から感謝いたします。

高等学校3年

「いわての学び希望基金」に寄附していただいた皆様、誠にありがとうございます。私は、東日本大震災をきっかけに、災害時に人の助けにたのめられた経験が、親身になって見ることができ、理学療法士を目指して、大学生活を楽しんでいます。

「カリスマ」はありませんが、大学で出会った方々の教員、方々に、感謝を込めて、卒業し、国家試験も合格することができました。

現在、1年間の勉強に、入部しました。まだ、慣れないと、毎日苦しいですが、目標や上司の方々の、励みのおかげで、日々頑張っています。

今はまだ、災害時の支援の経験も、まだまだありますが、この経験が、災害時の支援に、役に立つように頑張ります。

これから、人に寄り添える理学療法士を目指して頑張ります。

改めて、これまで支えてくれた「支援」に、心から感謝いたします。

高等学校3年

「いわての学び希望基金」を通じて支援していただいた皆様、誠にありがとうございます。皆様の温かいご支援のおかげで、安心して、学ぶことができ、努力を続けられています。心より感謝申し上げます。

高校生活では、家のことから、勉強や部活動、そして進路活動に取り組んできました。大変なことばかりでしたが、頑張ったこと、経験が自分自身を成長させ、夢を諦めずに進んでいく力になりました。高校3年生になった今、美容師を目指したいと思うようになりました。美容師アシスタントとして働きながら、資格取得を目指そうと考えています。美容師の力で、多くの人を笑顔にできる美容師になりたいと思います。また、資格取得後は地元に戻り、地元のお祭りや成人式、入学式、卒業式などに、華やかに参加できるように美容師になりたいです。自分のお店を開きたいと考えています。そして将来は、いただいたご支援のように誰かの夢を応援できる存在になりたいと思っています。これから健康を維持し、進路実現に向けて頑張ります。

高等学校3年

「いわての学び希望基金」に寄附していただいた皆様、誠にありがとうございます。皆様の温かいご支援のおかげで、安心して、学ぶことができ、努力を続けられています。心より感謝申し上げます。

高校生活では、家のことから、勉強や部活動、そして進路活動に取り組んできました。大変なことばかりでしたが、頑張ったこと、経験が自分自身を成長させ、夢を諦めずに進んでいく力になりました。高校3年生になった今、美容師を目指したいと思うようになりました。美容師アシスタントとして働きながら、資格取得を目指そうと考えています。美容師の力で、多くの人を笑顔にできる美容師になりたいと思います。また、資格取得後は地元に戻り、地元のお祭りや成人式、入学式、卒業式などに、華やかに参加できるように美容師になりたいです。自分のお店を開きたいと考えています。そして将来は、いただいたご支援のように誰かの夢を応援できる存在になりたいと思っています。これから健康を維持し、進路実現に向けて頑張ります。

「いわての学び希望基金」の支援を受けた子どもたちから、御支援いただいた皆様への、感謝のメッセージです。ほかにもたくさんのメッセージが寄せられています。県ホームページ(QRコード)からぜひご覧ください。



# エール

子どもたちの支えとなる皆様からの善意の心。  
御支援いただいている方々のいわての子どもたちへの想いを御紹介します。

## マナヴァレア フラ(チャリティー フラ)の集い

Manawale'a Hula 東日本大震災チャリティーフラの集い

私達はハワイ文化に魅せられ、北海道の各地のフラ教室で日々フラ(フラはフラダンスの正しい呼称)を学んでいる仲間です。大震災が起きた時、私達もフラを通して何か出来ないか、皆で繋がれば力になれるのでは…と、道内のフラ教室に呼びかけをしたら、30以上の教室が集まってくれました。その年の夏に最初のチャリティーフラコンサートを開催し、経費を除いた収益全てを寄付することが出来ました。以来、コロナ禍の年を除き、毎年チャリティーコンサートを続け、今年で13回目となりました。最初の2回は青少年向け震災支援団体に、3回目以降は岩手県、福島県、宮城県の震災遺児への支援窓口に分割して寄付させていただいています。お送り頂いている冊子から「いわての学び希望基金」が子供たちの心のケアにも尽くしておられることを知り、今回の表

紙の子供たちの笑顔からも明るい未来を感じられて、嬉しく思っています。そして私たち自身もチャリティーコンサートを通してアロハの絆が深まり幸せです。被災された子供たちが全員社会人となられるまで支援を続けていきたいと思っています。

(寄稿日:令和7年10月)



## 音楽の持ち寄りチャリティーコンサート

東日本大震災復興支援こいだらチャリティーコンサート

あの日の事は今でも鮮明に覚えております。連日テレビから流れる見たこともない映像に衝撃を受け信じられない思いでした。直接被害に遭っていなくても何かせずにはいられず開催したチャリティーコンサートが現在も年に一度続いております。続けてきたからこそこの信頼をいただき、毎年沢山の出演のお申し出と募金が集まるようになりました。民間レベルでもできる支援の形は様々ですが、辿り着いたのはやはり将来を担う世代の「自分で考え自分で行動できる」ための教育を支援していくこと。もう一つは同じ日本国民として、偶然大きな試練を受け人生が変わってしまった方々を忘

れない!という思いです。チャリティーコンサートを主催するようになり、音楽が役立つ事が嬉しいと思いました。誰かのために音楽仲間と奏でる音楽は何とも温かで純粹で素敵な音色なのです!この支援の輪が広がっていきますように願っています!

(寄稿日:令和7年10月)



## 眩しい未来へ向けて

ラ・サール中学校、ラ・サール高等学校

クリスマスバスケットバザーは、生徒が主体となって企画・運営しているイベントです。

理念に賛同してくださっている方々からの提供品や自分達でデザインしたグッズ、更には東北復興支援関連の物品の販売等を通して得た収益を全額様々な慈善団体に寄付しています。

中でも、東日本大震災以降は震災関連団体の支援にも注力しています。

私たちの学び舎は遠い国の人たちの支援によってできたといいます。そうした人たちの愛の心に感謝して、私達も鹿児島から遠く離れた地まで愛を広げたい。そんな思いを胸に活動しています。

バザーを運営している私たち生徒は皆さんと同じ世代の高校生や中学生です。私たちの支援が皆さんの

学びの一助になればいい。私たちが創る未来が輝きで満ちあふれたものになることを願っています。

(寄稿日:令和7年10月)



いわての子どもたちへエール寄稿を募集します。  
寄稿方法は県ホームページをご覧ください。

スマホは  
こちらから



## 全国から寄せられたメッセージ

「いわての学び希望基金」への御支援の際、多く励ましの言葉や子どもたちへのメッセージを頂いています。

- これからも応援しています。
- 忘れない。一緒に歩んでいます。
- 震災を経験した子どもたち その子どもたちが毎日を楽しく健やかに過ごせますように。
- また3月11日がやってきました。幼かった娘と同世代の被災地の子供達のためと思い震災後毎年寄付を始めました。これは、公助ではなく同じ地域に暮らす者として自助に値するものと思っています。
- 若いころに育てていただいた岩手県と岩手のみなさんに、ずっとずっと心から感謝しています。久しぶりにぜひ伺いたいです。
- 震災で苦勞している岩手の子供たちを思いちょびっとですが寄付させていただきます。
- あまり頑張らなくていいからね
- 我が家にいる、被災地で救出された赤ちゃんだったわんこが11才になり、時を感じる一方で、復興がどの程度進んでいるのかも気になります。心ばかりですが、皆

- さんのお役に立てればと思います。
- 頑張れ!岩手!今春からは故郷岩手に帰り、直接何かお役に立てるよう努めます!応援します!!
- 今年も少ないですが寄付させていただきます。少しでも子供たちの学びや生活に役立ててもらえればうれしい限りです。物価高で大変だと思いますが最大限有効活用できるように考えてお使いください。
- がんばれ岩手の子供たち
- 子供たちが幸せに育まれていくことを願っています。
- 立派な大人に育って下さい!
- 岩手の子供さんへ いつも応援しています。
- 娘の卒園式の日に震災があり、当時の日のことは鮮明に覚えています。そんな娘も18歳です。子を持つ親として少しでも支援へ協力したいと思いました。
- 微力ですがこれからもずっと応援します
- 未来を担う子どもたちが希望をもってすくすく育っていただきますように。

# 「いわての学び希望基金」活用状況

皆さまから寄せられた御支援は、子どもたちの「暮らし」と「学び」に役立てられています。



震災学習列車で学習する子どもたち

## ■ 寄附金の受付状況 [令和7年3月31日現在]

件数 **28,950件**  
 総額 **約108億3,417万円**

アイルランド、アメリカ、イギリス、イタリア、オーストラリア、カナダ、スイス、スペイン、セネガル、ドイツ、フランスなど世界各国からご支援を頂いています。

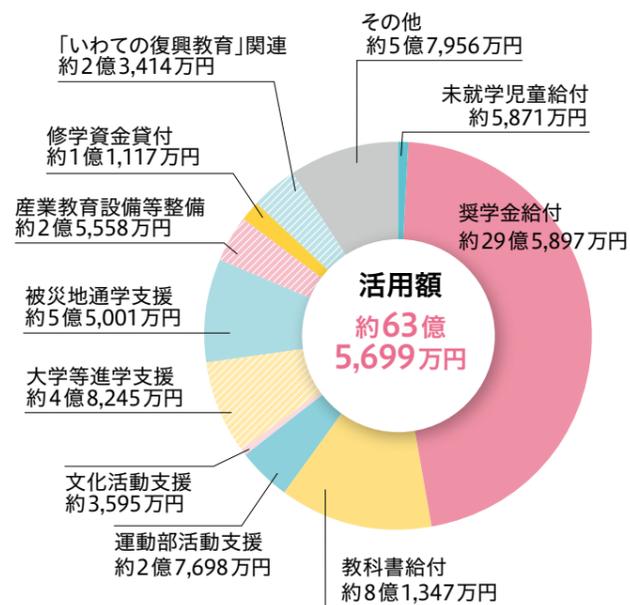
## ■ 本県の津波震災孤児・遺児の状況 (発災当時18歳未満の方)

孤児(両親を失った子ども) **94人**

遺児(父または母を失った子ども) **490人**

孤児・遺児を対象とした奨学金について、平成30年4月からは、月額給付額を増額するほか、大学院生に対象を拡大して給付しています。

## ■ 基金活用実績 [令和7年3月31日現在]



## ■ 社会に巣立つまでの学費等の支援

東日本大震災津波により被災し、親を失った児童・生徒等に対し、奨学金等を給付し、「暮らし」と「学び」の支援を行っています。

### 【奨学金等給付対象と給付金額】

| 給付対象         | 給付金額       |
|--------------|------------|
| 未就学児童        | (H29年度で終了) |
| 小学生          | (R5年度で終了)  |
| 中学生          | 月額 4万円     |
| 高校生          | 月額 5万円     |
| 大学生等(自宅)     | 月額 6万円     |
| 大学生等(自宅外)    | 月額 10万円    |
| 大学院生等(自宅)    | 月額 6万円     |
| 大学院生等(自宅外)   | 月額 10万円    |
| 一時金          |            |
| 小学校入学時       | 6万円        |
| 小学校卒業時       | 15万円       |
| 中学校卒業時       | 25万円       |
| 高等学校卒業時(自宅)  | 30万円       |
| 高等学校卒業時(自宅外) | 60万円       |

[平成30年4月~]

### 【令和6年度までの奨学金等支給人数】

(単位:延べ人)

|        | 未就学児 | 小学生   | 中学生   | 高校生   | 大学生・<br>専門学校生等 | 大学院生 | 合計    |
|--------|------|-------|-------|-------|----------------|------|-------|
| 平成23年度 | 85   | 190   | 137   | 149   | 66             | 0    | 627   |
| 平成24年度 | 73   | 172   | 130   | 150   | 75             | 0    | 600   |
| 平成25年度 | 59   | 152   | 117   | 149   | 101            | 0    | 578   |
| 平成26年度 | 44   | 129   | 107   | 140   | 121            | 0    | 541   |
| 平成27年度 | 29   | 114   | 102   | 130   | 133            | 0    | 508   |
| 平成28年度 | 19   | 91    | 102   | 115   | 123            | 0    | 450   |
| 平成29年度 | 5    | 86    | 84    | 104   | 134            | 0    | 413   |
| 平成30年度 | 1    | 75    | 71    | 101   | 110            | 7    | 365   |
| 令和元年度  | 0    | 61    | 52    | 102   | 104            | 8    | 327   |
| 令和2年度  | 0    | 45    | 47    | 85    | 109            | 5    | 291   |
| 令和3年度  | 0    | 30    | 45    | 73    | 96             | 6    | 250   |
| 令和4年度  | 0    | 20    | 41    | 51    | 100            | 3    | 215   |
| 令和5年度  | 0    | 6     | 38    | 49    | 92             | 2    | 187   |
| 令和6年度  | 0    | 0     | 29    | 46    | 72             | 3    | 150   |
| 合計     | 315  | 1,171 | 1,102 | 1,444 | 1,436          | 34   | 5,502 |

## ■ 被災児童・生徒の支援

被災地では、インフラ整備や住宅再建など、復興に向けた歩みが着実に進展している一方で、未だに様々な困難や制約を受けながら、精一杯、学業や部活動に励んでいる子どもたちがいます。

いわての学び希望基金は、こうした子どもたちの健やかな成長が図られるよう、環境の変化や被災地のニーズに対応し、被災児童生徒への支援を行っています。

### ■ 教科書購入費等給付事業

東日本大震災津波で被災した高校生に対し、入学一時金、教科用図書、修学旅行費を支援しています。

| 給付内容     | 給付額                      | 給付時期     |
|----------|--------------------------|----------|
| 入学一時金    | 250,000円                 | 入学年度     |
| 教科用図書購入費 | 15,000円                  | 年度ごと     |
| 修学旅行費    | 実費<br>※公立校の場合:上限100,000円 | 修学旅行実施年度 |

### ■ 被災地生徒運動部活動支援事業

運動部活動において、東日本大震災津波で被災した中学生、高校生がこれまでと変わらず県内外の大会に参加するために必要な交通費等を支援しています。



### ■ 被災地生徒文化活動支援事業

文化活動において、東日本大震災津波で被災した中学生、高校生がこれまでと変わらず県内外の大会やセミナーに参加するために必要な交通費等を支援しています。



| 事業      | 主な給付内容  |
|---------|---|
| 運動部活動支援 | ・大会出場経費(参加料、交通費、宿泊費)<br>・ヨット競技艇等の運搬費<br>・負担金等補助 |
| 文化活動支援  | ・大会出場経費(参加料、交通費、宿泊費)                            |

## ■ 大学等進学支援一時金給付事業

東日本大震災津波で被災した孤児・遺児以外の高校生等に対して一時金を給付し、進学等に伴う準備費用を支援しています。

| 給付内容                    |
|-------------------------|
| 自宅通学者：300,000円          |
| 自宅外(賃貸借住宅等)通学者：600,000円 |

## ■ 被災地通学支援事業費補助

東日本大震災津波で被災した生徒等の通学を支援するため、通学定期券の購入を助成しています。

| 補助対象              | 主な給付内容                           |
|-------------------|----------------------------------|
| 沿岸12市町村に居住している生徒等 | 通学定期券購入費の1/2<br>※震災遺児・孤児は購入費の2/3 |

## ■ 被災地域県立学校産業教育設備等整備費

被災地域の高等学校の実習用設備及び部活動設備を整備しました。(平成28年度～令和2年度)

| 整備した実習用設備   | 整備した部活用設備   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>NC加工実習システム</li> <li>万能製図台</li> <li>潜水器具 等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>競技用ヨット</li> <li>スクラムマシン</li> <li>打楽器(和太鼓・ティンパニー)等</li> </ul> |

## ■ 修学資金貸付等(医師・看護師・保育士)

東日本大震災津波で被災した学生等が、医師、看護師及び保育士になろうとする場合に、修学資金を貸し付け、修学を支援しています。

県内の病院等で一定期間勤務するなどの条件を満たすことで、貸付金の返済が免除されます。

## ■ 学校の入学料等の減免

東日本大震災津波で被災した生徒等を対象に、県立学校(高校、岩手県立大学、看護師養成所等)及び私立学校(幼稚園、中学校、高校等)の入学選考料や入学料、授業料などを免除しています。

## 「いわての学び希望基金」による支援対象を拡大します

震災から15年が経過し、被災した子どもたちを取り巻く環境の変化に柔軟に対応できるよう、令和8年度から、「いわての学び希望基金」による支援対象を拡大し、次の取組も支援対象として運用していきます。

なお、今回の支援対象の拡大に際しましては、御寄附いただいた皆様からのご意見を参考にさせていただきました。御協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

### ■ 令和8年度から新たに支援対象とする取組

- 被災による影響を受けた子どもたちのこころのケア
- 沿岸部の地域特性を生かした教育を推進するための設備整備
- 沿岸部における地理的条件等による内陸部との学習・体験機会の差を縮小するための取組
- 内陸部の子どもたちに対して震災の事実と教訓を伝承し、その担い手を育成するための取組

## ■ 「いわての復興教育」の推進

### ■ いわての復興教育推進事業

沿岸地域の小・中学校、義務教育学校及び県立学校から「いわての復興教育スクール」推進校を指定し、児童生徒による実践発表会などを行っています。

「いわての復興教育」副読本を活用した学習を県内全ての公立学校で実施することにより、地域の復興・発展を担うひとづくりを目指します。

県内の幼稚園や保育所、図書館、公民館等に配架した、「いわての復興教育」の3つの教育的価値をテーマにした「絵本」を活用し、読み聞かせなどにより、震災の教訓を次の世代に語り継いでいきます。



交流学習スクールの様子



学校防災アドバイザー派遣事業の活用



「いわての復興教育」絵本

### ■ 再建した野外活動センターでの復興教育研修プログラムの実施

東日本大震災津波で被災し、移転・新築により令和3年7月に再オープンした県立野外活動センター(愛称：ひろたハマラインパーク)は、各種野外活動やスポーツ合宿等ができる研修施設です。また、「いわての復興教育」として、避難所運営ゲーム、東日本大震災津波伝承館や震災遺構における震災の事実と教訓の伝承、三陸鉄道学習列車、漁業体験など、周辺地域の施設や団体等と連携した研修を行うこともできます。



ひろたハマラインパーク全景



漁業体験の様子

# 子どもたちをめぐる復興の状況

郷土を愛し、復興・発展を支える人材を育てています。



東日本大震災津波伝承館外観

## ■東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル 復興教育での活用

東日本大震災津波伝承館は、「東日本大震災津波の事実と教訓」を全世界の人々と未来へ伝承する場として令和元年9月22日に開館しました。

開館以来、岩手県内外の児童生徒が数多く来館し、解説員の説明を聞くなどして学習しています。津波で被災した消防車などの被災物の見学、三陸地方を襲った津波の歴史や命を守る行動、「つなみてんでんこ」に込められた意味など、東日本大震災津波を経験していない児童生徒も一から学べるよう展示しています。

また、小学生用に「震災津波学習ノート」、中学・高校生用に「震災津波伝承ノート」を用意しています。見学前の事前学習や見学時に学んだことを記入し、考えや思いをまとめる構成になっており、見学後の自分の生活や学校での復興教育に活用されています。



## ■公立学校施設の復旧

岩手県沿岸地域では、東日本大震災津波により86校の学校が被害を受けましたが、平成31年1月までに全ての学校が復旧しました。



大槌学園(大槌町)



小本小中学校(岩泉町)



越喜来小学校(大船渡市)

## ■公立文化施設・体育施設の復旧

岩手県では、東日本大震災津波により69施設(文化会館などの文化施設11件、体育館や野球場等の体育施設58件)が被害を受けました。このうち、復旧することとした67施設において、令和3年7月までに全ての施設が復旧しました。



奇跡の一本松ホール(陸前高田市)



釜石市民ホールTETTO(釜石市)



田老野球場(宮古市)

## ■いわての復興教育

### 震災の教訓から得た3つの教育的価値【いきる】【かかわる】【そなえる】

岩手県では、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するため、県内全ての公立小・中学校及び県立高等学校・特別支援学校で、「いわての復興教育」プログラムに基づきながら、震災津波の教訓から得た3つの教育的価値を育てています。



「いわての復興教育」プログラム

### 震災の教訓から得た3つの教育的価値

- ◆【いきる】 震災津波の経験を踏まえた生命の大切さ・心のあり方・心身の健康
- ◆【かかわる】 震災津波の経験を踏まえた人の絆の大切さ・地域づくり・社会参画
- ◆【そなえる】 震災津波の経験を踏まえた自然災害の理解・防災や安全



ジオラマを使用した自然災害の理解

## ■子どものこころのケアセンター設置

震災や被災生活により大きなストレスを抱える子どもたちの心のケアに対応するため、平成23年に「子どものこころのケアセンター」を宮古・気仙・釜石地区に開設し、平成25年には、中長期的に継続した支援を行う拠点として、岩手医科大学(矢巾町)内に「いわてこどもケアセンター」を開設しました。

震災から15年が経過しましたが、遅発性の不調や子どもたちの成長に伴う新たな心理・行動・社会的な課題がみられるため、令和元年9月からは、同大学附属病院に開設された児童精神科と密接な連携を図りながら、児童精神科医、臨床心理士、精神保健福祉士など、多職種チームにより専門的なケアを継続して行っています。



スタッフ写真



巡回相談風景

## 御寄附の 御案内

# いわての学び希望基金への 御協力をお願いします。

## 個人の方

個人の方からの「いわての学び希望基金」への御寄附は、「ふるさと岩手応援寄付(岩手県のふるさと納税)」にて承っております。申込を行う際には、ふるさと岩手応援寄付の対象事業の中から、「いわての学び希望基金に活用」をお選びください。

### ■ご寄附の方法(方法1又は2により申込)

#### 方法1 インターネットで寄附の申込をする場合

「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」「さとふる」「ふるなび」の各ホームページから寄附のお手続きができます。なお、電子決済(クレジットカード、キャリア決済など)での納付には、方法1のみが対応しています。

#### 方法2 申出書を県に送付する方法で申込をする場合

(1)「ふるさと岩手応援寄付申出書」をFAX、電子メール又は郵便で「お問い合わせ先」に送付願います。

(2)入金方法は下記のとおりですので、申出書に御希望の入金方法を記載してください。

- ①指定口座(※)への銀行振込
- ②県が発行する納付書による納付
- ③現金書留
- ④岩手県の窓口を持参

※振込口座については、「ふるさと岩手応援寄付申出書」に記載しています。

## 法人(団体)の方

### ■御寄附の方法

- (1)「いわての学び希望基金寄附申込書」をFAX、電子メール又は郵便で下記お問い合わせ先に送付願います。
- (2)(1)の送付後、寄附申込書に記載の専用口座に寄附金のお振込をお願いします。(法人・団体の方は、専用口座へのお振込のみに対応しています。)

### ■個人の方のお問い合わせ先

岩手県ふるさと振興部地域振興室  
〒020-8570盛岡市内丸10-1  
TEL.019-629-5184 FAX.019-629-5254  
E-mail AB0007@pref.iwate.jp

### ■法人(団体)の方のお問い合わせ先

岩手県復興防災部復興推進課  
〒020-8570盛岡市内丸10-1  
TEL.019-629-6935 FAX.019-629-6944  
E-mail AJ0001@pref.iwate.jp

## 寄附申込書類の入手方法について

■個人の方が使用する「ふるさと岩手応援寄付申出書」、法人の方が使用する「いわての学び希望基金寄附申込書」は右記の県ホームページから入手することができます。

個人の方



法人の方

## いわての学び希望基金 Q&A

### Q.現金での納付、クレジットカードでの納付は可能?

A個人の場合、可能です。(法人は、県所定の銀行口座への振込のみとなります。)

### Q.税制上の優遇措置は?

A個人の場合、ふるさと納税制度の対象となり、寄附金のうち2,000円を超える部分について住民税と所得税の控除対象です。法人の場合、県に対する寄附金は、全額損金算入が可能です。

### Q.県に申込書類を送付せずに寄附することは可能か。

A申込書類の提出がない場合には、寄附金受領証明書(法人・団体の場合:領収票)を送ることができません。受領証明書の送付を希望される場合には、入金前に申込書類を送付してください。

### Q.毎年寄附を行いたいが、毎年、申込書類の提出が必要か。

A寄附者様のご意思と受領証明書の送付先の確認のため、寄附の都度、申込書類の提出をお願いします。

### Q.ふるさと納税との関係は?

A上記の方法により個人が入金した寄附金は、ふるさと納税制度により寄附いただいたものとして取り扱います。

### Q.海外からの入金が可能?

A県所定の口座への銀行振込により可能です。(振込手数料は、寄附いただく方の負担となります。)

### Q.寄附した事実を公表したいが?

A寄附いただいた個人・企業等の皆様の御判断で、公表できます。

### Q.寄附金の管理方法は?

Aいわての学び希望基金条例に基づき、確実な方法により運用しています。

詳しくは岩手県のホームページ

岩手県 学び希望基金

検索

で検索!



岩手県復興防災部復興推進課

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

TEL:019-629-6935 FAX:019-629-6944